

令和2年第11回始良市教育委員会定例会

令和2年11月10日（火）

開会 9時58分

閉会 10時45分

加治木総合支所南庁舎3階会議室

1 出席者

小倉教育長 川畑委員 中間委員 岩元委員 藤谷委員

2 教育委員会事務局の出席者

岩下部長 北野次長兼教育総務課長 前田次長兼学校教育課長

塚田次長兼保健体育課長 原口社会教育課長兼図書館事務局長 別府国体推進課長

3 議事

議案等番号	件名	結果
報告第13号	スクール・サポート・スタッフの配置に関する件	承認
議案第43号	令和2年度始良市一般会計補正予算（第9号）（教育費）に関する件	可決

4 議事録

教育部長 皆さん、おはようございます。ただいまから令和2年第11回始良市教育委員会定例会を開催いたします。本日の議題は、報告が1件、議案が1件であります。ご審議の程よろしくお願いいたします。それでは、これ以降の議事進行につきましては、小倉教育長にお願いいたします。

教育長 それでは会議に入ります。本会議は公開を原則としておりますが、本日の会議を公開することにご異議ございませんでしょうか。

全員 はい。

教育長 異議なしと認めます。よって本日の会議は公開することとします。日程第1「議事録の承認・署名」についてであります。前回会議の議事録の承認・署名はお済みでしょうか。

全員 はい。

教育長 はい。それでは、前回議事録は承認されたものと認めます。
次に、日程第2「委員及び教育長の報告」についてであります。委員の皆様方から何かご報告はございませんでしょうか。

委員 はい。10月15日に市小学校陸上記録会が行われて、絶好のスポーツ日和でした。新型コロナウイルスの対策もしっかり取られた中で新記録もあり、とても素晴らしい大会になったのではないかと思います。市の小中音楽発表会も11月3日に行われたようです。今年度は、人数制限のため参加できなかったのですが、3か所に分かれての発表ではありましたが、とても良かったというふうに聞いております。今年度は、新型コロナウイルス対応を行いながら、学校や委員会もいろいろな工夫をしながら、ほとんどの行事を開催できて良かったのではないかと思います。また来年後も引き続き、なかなか難しいとは思いますが、うまく開催できればいいのかなというふうに思います。以上です。

教育長 他にございませんか。

委員 はい。11月1日に行われました「ハートフルあいランド」に参加してまいりました。こちらも新型コロナウイルス感染症の防止にしっかりと対策をとられての開催でありました。「ことばのいずみ」コンクールスピーチコンテストでは、小学校・中学校・高校生252名の中から11名の優秀賞の皆さんがスピーチをなさいました。はっきりとした口調で、私達聞く側の心に届くような、本当に落ち着いた発表をなされたことがとても感動いたしました。そして、そのあとの講演会は、朗読家の浜本麗歌さんのお話でした。私も読書活動をしているので、とても興味深い内容でしっかりと聞かせていただきました。以上です。

教育長 他にございませんでしょうか。
なければ私の方から報告いたします。
今報告にもありましたように、この秋の教育委員会主催の大きな行事も、いろいろコロナウイルス対策のために躊躇されるところはあったのですが、国が示しておりますガイドラインに沿って感染症対策をとって実施すれば、学校の中では危ないのではという声もあるようではございましたが、陸上記録会にしても、「ハートフルあいランド」にしても、合同音楽会にしても、いろいろな分散化で密を避けるような方法をとって実施すれば、まだ結果は分かりませんが、今のところは起きてないところではございます。それ

から、明けて1月からもいろいろな行事はあります。すでに加治木駅伝大会といったものは中止が決まっております。他の教育委員会が主催で行う行事については、特に中止にはしておりません。ただ、昨日も学校訪問に行っていただきましたが、だんだん寒くなってきましたと窓の開放ということが寒いことから換気がしにくくなってきています。昨日も校長先生に気を配って換気をするようにと話してきました。それは、心配なところではあります。それでは、本日の議案等に入っていきたいと思います。

まず、日程第3報告第13号「スクール・サポート・スタッフの配置に関する件」を議題とします。事務局からの説明をお願いします。

事務局

(学校教育課長) はい。報告第13号「スクール・サポート・スタッフの配置に関する件」について、ご説明いたします。資料は1頁と2頁になります。2頁をご覧ください。この事業につきましては、新型コロナウイルス感染症対策分の教育支援体制整備事業費補助金を使って行われるものです。1番をご覧ください。事業の目的です。学校再開にあたりまして3密を避けるための環境づくり等、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図ることで純増する教師等の業務をサポートし、教師が子どもの学びの保障に注力できることを目的としております。つまり事務的な部分をサポートして、子どもと向き合う時間を教師の方に作ってもらうということが趣旨でございます。2番目に事業の内容です。主として新型コロナウイルス感染症対策の強化を図ることで増加する教員の業務を支援し、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的としまして、地域の人材を公立の小学校や中学校に配置する事業でございます。3番目をご覧ください。スクール・サポート・スタッフの業務内容の具体例としまして、(1)新型コロナウイルス感染症への対策としまして、健康観察のとりまとめとか、連絡業務・補助、あるいは教室の換気・消毒等にあたります。(2)学級事務の補助としまして、学習プリント、学級だより等の印刷、こういったことを行います。(3)教務・研修業務の補助としまして、職員会議資料、校内研修資料等の印刷、丁合、製本を行ったりします。こういった様々な学校の用途に応じて業務を行ってまいります。4番目の雇用につきましては、雇用形態は会計年度任用職員になります。賃金としまして、時給905円、勤務時間は9時から16時45分、休憩を45分として7時間勤務となります。雇用期間につきましては、令和2年10月1日から令和3年3月31日の6か月間でございます。ただし冬休み、春休み期間の勤務はございません。5番目です。新規配置校及びスクール・サポート・スタッフにつきましては、ここに書かれてある8名の配置になります。申込につきましては10名の申込がございまして、面接をした結果、この8名に決定したところでございます。学校につきましては、400人以上の児童生徒がいる学校を対象としております。ただし、始良小学

校は、既に2名の方を昨年度から配置しておりますので、今回の配置から除くということでございます。以上報告です。

教育長 ただいま、事務局から説明がございましたが、何かこの点についてご質疑ございませんでしょうか。

委員 この事業は、現在のところ令和3年3月31日までとしてありますが、令和3年度は、こういう事業は継続の見込みがあるのでしょうか。それからもう1つは募集についてですが、募集の状況を教えてください。

事務局 （学校教育課長）まず、令和3年度の見込みにつきましては、これは国の補助金を使っておりますので、来年度はどうなるかわからないというところで、今年度までの事業となっております。国の補助金等次第では、また検討していきたいと考えております。それから募集の状況につきましては、先ほど申しましたように10名の申込がございました。ハローワークを通じて募集を呼び掛けたところ10名の申込がございまして、面接を行って8名に決まったというところですので、以上です。

教育長 他にございませんか。

委員 はい。勤務時間のことですが、1日7時間ということですが、去年からの始良小のお二人は8時15分から始まり、今回は9時からというのは何か理由があるのでしょうか。

事務局 （学校教育課長）はい。この時間につきましては、基本はこの時間でございますけれども、学校の状況に応じて前後しても構わないというふうにしてありますので、学校によっては8時15分から勤務しているところもあるかと思えます。

委員 はい。わかりました。ありがとうございます。

教育長 他にございませんか。今のコロナの拡大状況をみますと、この事業も、そのまま来年度もやっていくのではないだろうかという見込みはもっています。始良小学校は、昨年10月からモデル校として県内で3校だけ、去年から実施し引き続き今年度も実施しております。学校としては非常にありがたいと始良小学校から聞いております。教室の清掃、消毒等そういったものを手伝ってもらっています。ただし、成績処理はノータッチです。始良小は2名となっていますが、1人分を2人に分けているということです。交代で行って

おります。2人分配置しているというわけではありません。

他にご質疑ございませんでしょうか。

なければ質疑なしと認めます。お諮りいたします。報告第13号「スクール・サポート・スタッフの配置に関する件」については、事務局からの報告のとおりご了承いただけますでしょうか。

全員 はい。

教育長 異議なしと認めます。よって報告第13号については、承認されました。次に日程第4議案第43号「令和2年度始良市一般会計補正予算（第9号）（教育費）に関する件」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局 （教育総務課長）はい。議案第43号「令和2年度始良市一般会計補正予算（第9号）（教育費）に関する件」について、ご説明いたします。資料4頁をお願いいたします。始良市全体の歳入の総括になります。今回の補正額は、市全体で3億8,466万7千円、補正後の予算額が427億5,300万2千円となります。次に5頁です。市全体の歳出の補正額になります。10教育費の行をご覧ください。教育費につきましては、補正額が2,175万6千円、補正後の予算額が29億9,550万5千円になります。つづきまして、6頁をお願いいたします。歳出の詳細になります。まず表の1段目、款10教育費、項2小学校費、目1学校管理費、小学校施設整備事業の工事請負費650万円でございます。これにつきましては、帖佐小学校におきまして来年度特別支援学級が2クラス増える見込みであります。現在、空き教室がないということから、新たに教室を設けることが必要になりました。今回GIGAスクール構想事業によって、各教室でタブレットでの学習が可能となりますので、現在のパソコン教室を2つに区切り、特別支援教室2部屋を確保するものとし、別紙の資料で示しておりましたが、1枚目が特別支援の状況ということで、2枚目が帖佐小学校の配置図で、現在のパソコン教室が○の部分になります。中に小さな資料室のような倉庫があるのですが、それを取り除きまして2つに区切り、入り口を設置しようとして計画しております。これにより特別支援教室を2つ増やし対応していきたいと考えていきます。資料の1枚目は現在の特別支援教室の状況でございます。後ほどお目通しいただければと思います。学級数の欄でR2が現在の状況で、R3が来年度の見込みでございます。それでは6頁をお願いいたします。小学校費の目2教育振興費、扶助費525万と、中学校費、目2教育振興費、扶助費1千万6千円につきましては、要保護及び準要保護児童生徒の増加の伴う扶助費の追加となります。以上で説明を終わります。

教育長 ただいま事務局より説明がございましたが、何かご質疑ございませんでしょうか。

委員 はい。扶助費のことについてですが、小学校も中学校も増えているようですが、要保護とか準要保護とか援助がいるという家庭につきましては、比率が出ていると思いますが、今どのくらいでしょうか。

事務局 （学校教育課長）すみません。まだ比率を出しておりませんでした。申し訳ございません。人数を申し上げます。小学校が現在の認定数が770です。中学校の認定数が446となっております。

教育長 比率は、だいたい始良市になった平成22年度頃は10.5パーセントぐらいでした。現在が16.5パーセントです。6パーセント増です。それは経済状況が悪化しているだけではなくて、人口流入というのも要因にあるのではないかと考えております。

他にございませんでしょうか。

今、特別支援学級の学級数が示されておりますが、令和3年度が小学校は48クラス、中学校が13クラスあわせて61クラスですが、これも始良市になった当初は23クラスくらいしかなく、3倍くらいになっています。始良市は児童生徒数が減らないですから、教室が足りない。これで今、国が考えております30人学級が始まるようになりますと、ますます教室が足りなくなるだろうと。ただ、30人学級はすぐには実現しないだろうと思いますが、年次的に取り組んでいくことになろうかと思っております。今1、2年生が中学3年生とかいう形で進んでくると思っております。そういったところでは増えてくると予想しているところです。ちょっと心配なところではあります。特に重富小学校とか、すでに松原なぎさ小学校も教室が足らなくなっていく可能性があるかと心配しております。児童数は若干減ってきています。ただ幸いにというか、今後は子ども達の机の上でタブレットを使って授業を行いますので、パソコン室での授業という形ではなくなることから、そこでとりあえず改良していくという方向で、特別支援学級の増加分は対応できるということになっています。

他にご質疑ございませんでしょうか

なければお諮りいたします。議案第43号「令和2年度始良市一般会計補正予算（第9号）（教育費）に関する件」については、事務局からの提案のとおり、可決することにご異議ございませんでしょうか。

全員 はい。

教育長

異議なしと認めます。議案第 43 号「令和 2 年度始良市一般会計補正予算（第 9 号）（教育費）に関する件」については、可決されました。
次に日程第 5 「事務連絡」に入ります。委員の皆様から何かございますか。
なければ、事務局からお願いします。

事務局

（学校教育課長）はい。学校教育課ですけれども、先程話が出ました G I G A スクール構想のタブレットの仕様について、ご説明いたします。それではお手元の資料をご覧ください。1 頁につきましてご説明いたします。一人一台のタブレットの仕様につきまして、ARROWS（アローズ）の G I G A スクールモデルという機種を購入しようと考えております。導入ソフトにつきましては、ロイロノートとドリルパークを考えており、内容については後もってご説明いたします。フィルタリングについては、ロイロノートで対応できるということですので、フィルタリングソフトはロイロノートで行います。一台あたりの導入価格としましては、ARROWS（アローズ）の本体価格が 50,490 円、設計・設置・導入の作業につきましては、価格が 2,860 円、ロイロノートスクールを 5 年間使いますので 4,180 円、ドリルパークの 5 年間使用で 6,050 円、合計で 63,580 円になります。下の表をご覧ください。購入につきましては 7,084 台予定しております。一台あたり単価を 65,000 円と予定しておりましたので、差額が若干出てまいります。2 頁をご覧ください。その ARROWS（アローズ）のタブレットの写真になります。このように、通常はノート型パソコンのように開いて使いますが、この画面の部分を取り外してタブレットとして使用することも出来るという、2 通りの使い方ができるという機種でございます。一体型も検討したのですが、それはノート型パソコンのキーボード面を逆向きに折り曲げるという形で、少し重量が重いということから、こちらの ARROWS（アローズ）の機種の方が、画面の部分を取り外せるということから、だいぶ軽くなります。小学校の低学年につきましても、持ち運んで花の写真を撮ったり、校外に持っていきやすいと考えて、こちらに決定したところです。3 頁をご覧ください。合計しますと 4 億 4,945 万 9,560 円になります。内訳は 4 頁のとおりでございます。ロイロノートスクールというソフトにつきましては、5 頁をご覧ください。私も詳しく使ったことはないのですが、神奈川県に研修に行った折に、推薦をいただいたものでもございます。様々な用途がございまして、まず教材を配付する時に、ロイロノートがあれば一人一人に設定して教材を配付することができる。そして画面を配信するとありますが、先生の板書をリアルタイムに配信して、生徒のタブレットに写すことができるということです。そして一番使われるのが、協働で学習するということになるかと思っています。ロイロノートを使ってタブレットに、それぞれ子ども達が考えたことを入力していきますが、それがカードみたいな形になって、それを同じグループの同級

生に送ってやり取りをしたりできます。それから思考ツールということが今言われているのですが、タブレットを使って、自分の考えを整理するために、例えば魚骨のような形や樹形図みたいな形を使って整理していくこともできます。タブレットに取り込んだ撮った写真を使ったり、自分が作った文章を使って、プレゼンテーション用の資料を作ったりすることもできるという、いろいろな使い方ができるソフトです。それから資料の6頁になりますけれども、ドリルパークにつきましては、いわゆる紙ドリル帳がタブレットに入っています。このドリルパークは全教科に対応しています。来年4月1日から、このドリルパークにAI人工知能が搭載されるということになります。AI人工知能が搭載されますと何が便利になるかといいますと、つまずいたところまで戻って問題を出してくれるという、ドリルパークを使って自分の学び直しができるということになります。そういった2つのソフトを入れたいと考えております。以上で説明を終わりたいと思います。

教育長 他にありませんか。

事務局 (社会教育課長) 本日、机上に配付させていただきました、令和3年始良市成人式開催について、説明をさせていただきます。趣旨はお目通しください。対象者は平成12年4月2日から平成13年4月1日までの出生者、外国籍の方については平成10年4月2日からになります。始良市に住民登録している方、または始良市に在住歴のある方になります。対象者としましては1,087人です。その中で日本国籍の方が989人、外国籍の方が98人となります。日時でございます。令和3年1月10日、日曜日。今回はコロナ対策を考えまして、2部構成といたしております。午前の部が11時から12時までで、この時間帯で帖佐中・重富中・山田中校区の方を対象者とします。午後の部は14時から15時までで、加治木中・蒲生中、それから始良市の中学校を卒業していないのですが、その後新規に転入された方を対象者としております。すでに対象者の方々には、案内状を発送しているところです。日程につきましては先程も言いましたように2部構成になっていますが、裏面を見てください。そこに新型コロナウイルス感染症への対応として、1会場での感染防止対策(3)式典時の対応、③来賓の縮減として、来賓の方は市議会議員・県議会議員・教育委員の皆様のみとなっております。2部構成になっておりますので、両方出ていただくことは大変恐縮ですので、午前・午後のどちらかに出席していただければ有難いと思っております。この定例会の後に少し具体的な話をさせていただきたいと思っておりますので、少しお時間をいただければと思います。よろしく願いいたします。

委員 新成人の対象者の人数をもう一度お聞かせください。

事務局 (社会教育課長) 対象者は、全体で1,087人です。そのうち日本国籍の方が989人、外国籍の方が98人となります。

教育長 だいたい半々になるように分けています。全員参加するとは限りませんが、かねての式典より短い時間で行う予定です。後ほど委員の皆様のご都合をお聞かせいただきたいと思います。
それでは、なければ行事予定に入っていきます。

事務局 (教育総務課より順次説明)

教育長 他にございませんでしょうか。
なければ、以上で本日の議事をすべて終了したいと思います。
お諮りします。本日の議事録の字句の軽微な訂正等は、当局に一任していただきたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

全員 はい。

教育長 異議なしと認めます。よって、議事録の軽微な字句の訂正は、当局にご一任いただきました。以上で、令和2年第11回教育委員会定例会を終了いたします。皆さまご苦労様でした。

全員 ありがとうございます。